

2026年 7月14日

各都道府県アーチェリー協会(連盟) 御中

(公社)全日本アーチェリー連盟

会 長 世耕 弘成

(公印省略)

第80回国民スポーツ大会アーチェリー競技会参加に係る手続きについて(連絡)

各都道府県協会(連盟)ならびにブロック大会主管協会(連盟)は、第 80回国民スポーツ大会(青の煌めきあおもり国スポ)の参加に係る下記の手続きをお願いいたします。

記

I. 各都道府県協会(連盟) → ブロック大会主管都道府県協会(連盟)への書類提出

1. 国スポ予選会(都道府県)成績報告書(国スポ第1号様式)

2. 都道府県内予選会成績一覧表

➤ 成績一覧表に必ず代表選手が記載されていること

➤ 代表選手には赤色のマーキングをつけること

※「ふるさと登録」対象選手の適応条件・留意事項等をよく確認して申し込むこと

監督は公認スポーツ指導員制度に基づく資格を有する者であること

II. ブロック大会主管都道府県協会(連盟) → (公社)全日本アーチェリー連盟への書類提出

ブロック大会主管協会(連盟)は、大会参加都道府県から送付された成績表にて、予選会に代表選手が出場しているか資格審査を行うこと

1. ブロック大会参加状況報告書(国スポ第4号様式)

【締め切り日】 各ブロック大会終了翌日の午前中(厳守)

前期日程は8月17日(月)午前中・後期日程は8月24日(月)午前中(ブロック大会日程を変更した場合は、変更した大会終了翌日午前中)までに文書交換システムで提出すること

(1) この報告書により、監督配置を行う

(2) 8月26日(水)に監督配置を行い、8月27日(木)までに加盟団体に通知する

※監督配置数を確認して、本国スポの参加申込み手続きを行うこと

2. ブロック大会成績報告書

(1) ブロック大会成績報告書(国スポ第1号様式)

(2) ブロック大会成績一覧表…代表選手3名の合計得点、および順位が記載されているもの

(3) ブロック大会プログラム

(4) 各都道府県より提出された都道府県内予選会成績一覧表

上記一式を本連盟へ提出すること(国スポ開催地への提出は不要)

【締め切り日】 8月28日(金)

本連盟においては各都道府県より申請された国民スポーツ大会参加申込書、ブロック大会成績報告書、全日本アーチェリー連盟会員登録者名簿、および日本スポーツ協会(JSPO)より提出された「ふるさと選手登録名簿」にて資格審査を行う

III. 注意事項

1. 都道府県内予選会成績一覧表について

選手が予選会に出場しているかを確認する資料として使用するの、代表選手が全員記載の場合、一つの大会の成績表で可(大会パンフレット、全成績表は不要)

2. 監督について

- 監督は、本年度の全日本アーチェリー連盟に会員登録済みの者
- ブロック大会においても、日本スポーツ協会公認スポーツ指導員制度に基づく資格を有する者であること
- 本国スポでの監督数は、総数52名以内(1都道府県2名以内)とし、監督配分会議により調整する

3. 帯同コーチについて

- 監督を補助する目的で帯同コーチを認める
- 日本スポーツ協会公認スポーツ指導員制度に基づく資格を有する者が望ましい
※(来年度の宮崎国スポからは「日本スポーツ協会公認スポーツ指導員制度に基づく資格を有する者とする」ので、引き続き資格取得推進にご協力をお願いします。)
- 国スポ正式参加者とならないので大会プログラム等には氏名は記載されない

4. トレーナー(コンディショニングコーチ)について

- 選手のコンディショニングを整える目的で、トレーナー(コンディショニングコーチ)の選手休憩エリアへの入場を認めるが、競技エリアへの入場は認めない
- 人数は各都道府県共に男女各1名までとする
- 施術は自身の都道府県に与えられた椅子やテーブルの置かれている範囲内で行うことができることのみとする
※ベッドなど大型の機器使用伴う施術をする場合は、競技会場外で行うこと

5. 全ア連登録番号について

全ア連登録番号は、0を省略せず必ず8桁(例 00012345)で記載すること

6. 国スポドーピング検査同意書について

少年種別年齢域は、日本スポーツ協会HPからダウンロードすること

7. 各都道府県選手団に支給される全種目共通公式ユニフォームについて

国スポに限り、各都道府県選手団に支給される全種目共通公式ユニフォームのデザインについては、連盟競技規則第218条服装規定においての特例を設ける

8. アンチ・ドーピング教育について

- 2023年度以降国スポに参加する下記の対象者は、アンチ・ドーピング教育が義務付けられたため各自参加カテゴリーの教育内容を確認し、視聴または受講後に参加申込すること
- 選手カードまたは教育履歴確認カード(監督、帯同コーチ)に教育履歴を記入すること(選手が競技会出場時に18歳未満の場合、保護者の教育履歴も記入すること)
- 日本スポーツ協会ホームページに主唱する教材の紹介があるので参考にとすること

<https://www.japan-sports.or.jp/medicine/doping/tabid1395.html>

(1) 対象者: 令和8年度の国民スポーツ大会に参加する下記の者

① 監督、帯同コーチ

② 選手

③ 保護者(競技会出場時に18歳未満である少年種別選手の保護者)

(2) 実施時期: 国民スポーツ大会参加申込日までに視聴または受講すること

〔競技部国スポ担当 菅原 正幸〕